

Global Relay アーカイブの有効活用により コンプライアンス対応と利便性向上を同時に実現

**Notes メールを Global Relay でアーカイブし、
エンドユーザが自由に検索できるよう開放**

日本クロージャー株式会社様（以下「日本クロージャー様」）は、クロージャー（容器キャップ）の日本におけるリーディングカンパニーとして、大きなシェアと実績を誇っています。東洋製罐グループの一員でもある日本クロージャー様は、コンプライアンスや監査に対応するためのメールアーカイブシステムの導入を期に、Notes 独自の社員 DB との完全な連携を開発会社の協力を得て実施し、エンドユーザへアーカイブ開放を実現しました。

日本クロージャー株式会社

日本クロージャー様は、お客様からのあらゆるニーズにスピーディーに対応しながら、開封性や使いやすさに工夫を凝らし、国内外から高い評価を得ています。その歴史は 1941 年に設立された帝国王冠株式会社に始まり、その後東洋製罐グループに参加し、グループ内の各社とも協業しながら、トータルなパッケージ開発を手掛けています。

コンプライアンスとユーザ利便性向上の両面で メールアーカイブの導入を検討

東洋製罐グループ全体でコンプライアンスに取り組む中、日本クロージャー様でもメールアーカイブの導入を検討していました。しかし、総務・人事部付 部長 小池 満男氏の狙いはコンプライアンスへの対応だけではなく、アーカイブの導入を期にユーザの利便性も追求することでした。

日本クロージャー様ではクライアント環境として DaaS (Desktop as a Service) を利用しており、メールシステムとしては IBM Notes/Domino を利用しています。その環境の制約によりスプール容量が限られているため、古いメールを保存しておきたいユーザには個別にバックアップを取るようアナウンスをしていましたが、ユーザの負担にもなり、徹底できていない部分もありました。

そこで、アーカイブしたメールをエンドユーザからもアクセスできるようにすれば、ユーザ自身でバックアップを取る必要がなくなり、ユーザの負担も減らせる上に利便性を向上させられると考えたのです。

Notes 専用のアーカイブシステムも検討しましたが、世界的な実績があり、各種メールシステムとの親和性が高く、ユーザによるアーカイブデータの高速検索が可能な Global Relay の導入を決めました。

より高いレベルのサービス提供のための課題と コムチュア（株）との出会い

Notes メールでは、Notes DB で定義した組織名がそのまま内部のメーリングリストとして使用できます。そのままアーカイブすると、メーリングリスト宛に送受信したメールは組織名のインターネットアドレス宛として保存されるため、そのメールの送受信時に組織に所属していたユーザは Global Relay で検索できない問題がありました。また、Notes の仕様上、メーリングリストへのメールをインターネット標準のプ



日本クロージャー製品の一部。多様な容器のクロージャーを製造・販売している

ロトコルを使ってアーカイブすると、メールが重複して記録されてしまう問題もありました。

ユーザへのより高レベルなサービス提供を考えていた日本クロージャー様では、解決すべき課題として取り組みを始めました。

ところが、最初に対策を相談した開発会社からは「それはできない。」と断られてしまいました。そこで頼ったのが、コムチュア株式会社でした。小池氏はそのときのことを覚えています。「なんと、最初のミーティングで渡邊さんから『恐らく大丈夫だと思います。』という言葉が出たのです。びっくりしました。」

コムチュア株式会社第二事業本部ソーシャルソリューション本部ソーシャルソリューション第一部担当部長の渡邊 進氏は、「もちろん、社に戻って検討しなければ確約はできませんでしたが、それまでの経験から、『これならいける』という感触はありました。」と、当時は振り返ります。

コムチュアの技術力で Notes 環境との 高度な親和性を実現

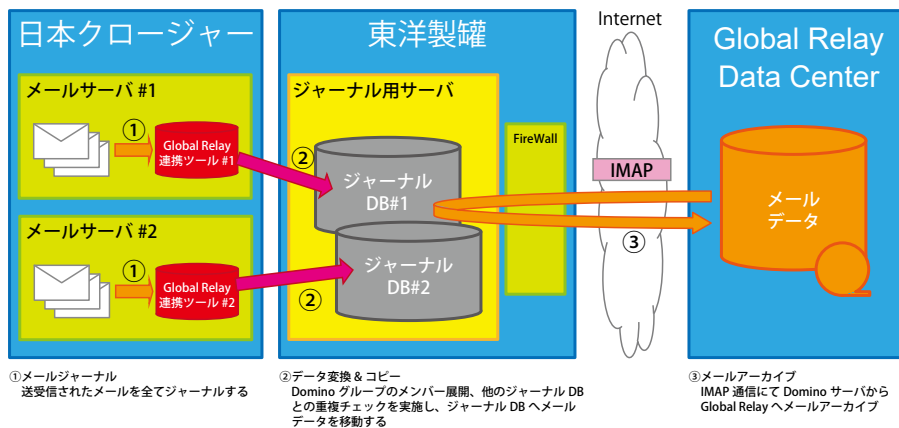
まず、コムチュアは組織メーリングリスト宛に送受信されたメールを、そのままジャーナリングするのではなく、その時点で組織に所属しているユーザアドレスを自動的に解析して各ユーザ宛のメールに分解してジャーナリングするツールを開発しました。これにより、ユーザは過去の組織宛に来たメールであっても、自分自身が所有しているメールとして Global Relay で検索できるようになりました。

さらに、メールが重複して記録されてしまう問題に関して、メールをジャーナルする段階で重複をチェックして移動する連携ツールを開発することで解決しました。この問題は Notes の仕様に依存するのですが、メールの宛名や送信元の違いによって挙動が違います。そこで、実装しては確認し、修正するということの繰り返しで、様々なケースに対応し、最終的には問題すべてを解決し、エンドユーザにアーカイブを開放することができました。

小池氏は「コムチュアさんとの出会いのおかげでより高いレベルのサービスをエンドユーザに提供することができました。IBM Notes/Domino の仕様に熟知しているからこそ、最適な判断と対応が可能だったのでしょう。結果的にも全く問題なく動いています。」と全幅の信頼を置いています。

エンドユーザも満足、情シスにもメリット

東洋製罐グループホールディングス株式会社 情報システム部で日本クロージャー様を担当している前田 哲氏は、「エンドユーザは、いちいちバックアップをとらなくて良くなったのでとても喜んでます。また、以前はバックアップを取り忘れ、メールをうっかり消してしまって、情報システム部にメールの復活を依頼してくるユーザが一定数いたのですが、それも無くなりました。メールの復活は結構大変な作業なので、非常にありがたいです。」と言います。



アーカイブの検索が本当に高速で快適

Global Relay のアーカイブは、高速な検索で定評があります。「検索は本当に高速です。Notes 内でメールを検索するよりも速いです。」と、前田氏は言います。

Global Relay の検索は日本語でも速度が落ちず、全くストレスが無いということです。さらに小池氏は、Global Relay ではスマホ用の専用アプリを利用可能なことを聞くと、「これも是非使ってみたいですね。」と期待を寄せています。

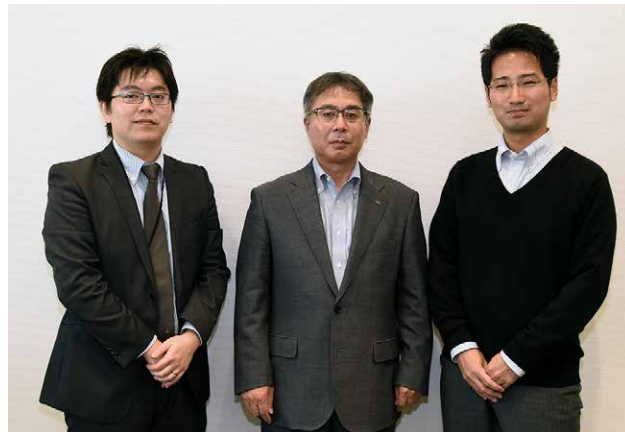
Notes/Domino メールアーカイブを商品化して他ユーザへも展開

インターネット標準プロトコルの Global Relay アーカイブに Notes DB の内容をそのまま反映できるのは、Notes ユーザにとって画期的なことです。

コムチュアでは、今回の構築経験をベースに、Notes/Domino 向けのアーカイブソリューションとして商品化しました。既に複数件の引き合いがあり、数千ユーザ規模の導入が決まっている案件もあるということです。

日本クロージャー株式会社 会社概要

創業 1941年1月17日(昭和16年)
 代表者 中嶋 寿
 資本金 5億円
 所在地 東京都品川区東五反田2丁目18番1号
 大崎フォレストビルディング18F
 従業員数 1,374名(2017年3月末現在)
 事業内容
 ・各種金属キャップの製造販売
 ・各種樹脂キャップ及び樹脂製品の製造販売
 ・新規分野製品、他各種樹脂成形品の製造販売
 ・上記に関連する機械の販売と保守
 ・各種金型事業



(写真左から) コムチュア株式会社 ソーシャルソリューション本部 担当部長 渡邊 進氏、日本クロージャー株式会社 総務・人事部付 部長 小池 満男氏、東洋製罐グループホールディングス株式会社 情報システム部 前田 哲氏



セキュリティストリングス株式会社

〒102-0082 東京都千代田区一番町6番地 相模屋本社ビル7F
 Email: sales@securitystrings.com
 URL: http://www.securitystrings.com

お問合せ